

① 災害対策強化とDX化について

- 「被災者一人一人が抱える課題はそれぞれ違い、被災地の弱者に寄り添う災害ケースマネジメントの推進を」

答弁:「災害ケースマネジメントについて関係局と連携し取り組みを進めていく」

- 「避難行動要支援者の支援のため双方向情報伝達システムや逃げ遅れ防止アプリなどAIやアプリの活用を」

答弁:「ご指摘のDXの活用を参考に、より効果的な避難支援の取組みが進むよう検討する」

- 「遠隔地からでも判定できる応急危険度判定や罹災証明書発行の迅速化を」

答弁:「遠隔地からの判定など効率的な手法を積極的に取り入れていく」

② AEDの普及・活用と救命サポーターについて

- 「最寄りのAEDまでの距離を示すAEDマップの作成を」

答弁:「最寄りのAEDまでの距離を計測できる機能を検討していく」

- 「自治会や集合住宅が24時間誰でも使用できるAEDを設置する際に補助金の検討を」

答弁:「AED設置の補助について検討していく」

- 「一秒でも早くAEDを使用するため市民の救命サポーターを活用する仕組みづくりを」

答弁:「AEDがより早く使用される仕組みを検討する」

- 「女性へのAED使用をためらわない啓発と三角巾配備を」

答弁:「市ホームページの掲載など周知を図り三角巾は設置者に協力依頼する」

③ 自治会・町内会の電子回覧板について

- 「災害時の地域特有の緊急情報発信や行事の中止の連絡など電子回覧板が有効ではないか」

答弁:「情報発信の迅速化や効率化から電子回覧板ツールは有効でありデジタル活用支援を行っていく」

- 「自治会役員の負担軽減や活動の効率化、迅速な情報共有のため電子回覧板導入を」

答弁:「他都市を参考に電子回覧板ツールを活用した情報発信への支援を検討する」

令和6年度条例予算特別委員会
質疑で提案・要望！(R6.3.25)

《令和6年度予算～公明党の提案・要望で実現しました！》

高齢者乗車券のタクシー助成券見直し

今まで高齢者乗車券のひとつのタクシー助成券は、1乗車につき1枚しか使用できませんでしたが、繰り返し要望を重ねてきた結果、本年10月から2枚利用が可能となります。



在宅人工呼吸器使用者の非常用電源助成

在宅で24時間人工呼吸器を使用する身体障がい者や難病患者が災害時や停電時に備えて非常用電源を購入する際に、購入費の9割が助成されることになりました。



プラごみ分別収集や指定ごみ袋の小型化

令和8年度から開始される「プラスチックごみ分別回収」に向けた準備と、可燃ごみの指定袋により小さな10Lサイズが追加され、レジ袋の代わりとなるバラ売りも始まります。



福岡市型こども誰でも通園制度を開始

保護者の就労に関わらずに保育所等を利用できるもので、国基準では月10時間ですが、福岡市は40時間に大幅拡充、利用枠を1,000人超で、30カ所の施設で実施します。



《日々の活動報告》

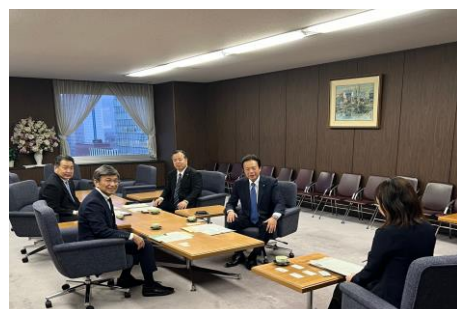
大原校区新年交歓会 (R6. 1)



原団地もちつき大会 (R5. 12)



札幌市の電子回覧板を視察 (R5. 11)



西区の食品リサイクル工場へ (R5. 10)



高木勝利市政報告会 (R5. 11)



能登半島地震被災者支援募金 (R6. 1)



◎生活環境委員会(道路下水道局・環境局・水道局・消防局・交通局の5局)
◎少子・高齢化対策特別委員会 ◎文化・スポーツ振興推進協議会
◎福岡地区水道企業団議会・議員
●公明党福岡県本部：幹事・党員学習委員長 ●公明党福岡市議団：政調会長
日々の出来事や活動など、ブログ(Twitter・Facebook)で更新中です！

昭和38年9月直方市生れ。昭和61年～西鉄旅行に17年4か月間勤務。衆議院議員神崎武法秘書を経て平成23年4月に福岡市議会議員に早良区より初当選。令和5年4月4期目当選。防災士。大原公民館運営懇話会委員。早良区原4丁目在住。